

西風満紀子

和歌山県粉河町（現、紀の川市粉河）出身。ベルリン在住。

作曲家、ピアニスト、サウンドパーformer。

愛知県立芸術大学卒業後、ミルズカレッジ大学院（カリフォルニア）を経てベルリン芸術大学大学院修士課程修了。

これまでヨーロッパ、南米アメリカなど世界各地の音楽祭で作品が演奏されている。

2003年ベルリン国際芸術祭のフェスティバルMaerzMusikよりオーケストラ作品の委嘱を受ける。2006年には同フェスティバルでMusik Theater（音楽劇）の上演、また2014年には9台のピアノのための委嘱作品の上演が行われる。

2007年ドナウエッシンゲン音楽祭では委嘱作品のピアノとオーケストラのための“piano-breathing”が高橋アキのソロで演奏される。

2007年ベルリンの芸術アカデミー（Akademie der Künste）とベルリン市主催のベルリン芸術賞の奨励賞を受賞。その他さまざまな機関から委嘱、助成を受けながら活動を展開中。またドイツ国内をはじめ、カリフォルニア、オーストリア、イタリア、アイスランド、スイスなど各地のアーティスト・イン・レジデンスに招待されている。

様々な楽器や声のための作品のほか、最近は特殊な空間で上演する大掛かりなプロジェクトに取り組むことが多い（spatial music/ Räumliche Musik）。ppt（2013）、morepianos I, II（2014）vi-ta, wanderlied（2015）など実験的なパフォーマンスを作品の中に取り入れ、通常のコンサートの枠を超えた表現方法を追及している。

またピアノ、クラヴィコード、チェンバロなど鍵盤楽器の自作自演も活動の中心である。古い鍵盤楽器のために特殊な新しい演奏技術を取り入れるのではなく、楽器そのものの特性を生かしつつ多様な音色を引き出せるような作品作りを目指す。ドイツ語の“musizieren” - 音楽すること、という言葉大切に、作曲と演奏・パフォーマンスを合わせた独自の創作活動を行っている。

2007年から2009年3月まで和歌山大学教育学部教員を務める。ベルリン芸術大学でも講師を務め、これまでに各地でレクチャーやワークショップの講師として、音楽家のみでなく一般対象の教育活動も継続中。

2013年はミルズカレッジにゲストとして招待されコンサートとレクチャー、2014年はウィーン音楽大学・ベートーヴェン研究所が毎年主催する現代ピアノ音楽の講習会でゲスト作曲家・ピアニストとして学生指導のほかワークショップ、レクチャー、コンサートを行なう。